

2025年度

ニチキッズ洛西口第二保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月21日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	日々の生活の中で、「もっとやりたい！」「もっと遊びたい！」という欲求が満たされるよう、子どもの気持ちに寄り添うことで、一人ひとりの「おもいっきり」が達成できたと思う。また、子どもの発達や興味を理解し、それを取り入れることで、「やりたくなる保育」の取り組みができた。
子どもの発達援助	全職員で子どもの発達状況をタイムリーに共有し、支援の方向性を統一したことで、一人ひとりの発達に即した丁寧な関りが実現できた。その結果、子どもが安心して過ごせる環境が整い、心身の健やかな成長を促せた。また生活面（衣服の着脱、トイレトレーニングなど）は、絵本などの視覚的なツールを用いることで、やってみたいという意欲を引き出し、楽しみながら取り組むことができた。
保護者に対する支援	毎日の会話や連絡帳を通じてコミュニケーションをとりあうことで関係性の構築ができた。また家庭での様子を保護者と共有し、相談やアドバイスを行うことで保護者の孤立を防ぎ、共に育てるパートナーシップが形成できた。その結果、子どもたちの生活の安定につながった。
保育を支える組織的基盤	業務の標準化と役割分担を徹底したことで、経験が浅い職員も迷いなく動ける体制ができた。その為、活発な報連相を通じて良好なチーム間の構築ができ、保育の質の向上にもつながった。
総評	
職員間の情報共有を密に行うことで、日々話し合いながら、その子にとって最適な援助ができた。結果、子どもたちの成長につながり、安定した園生活を送ることができたと思う。次年度も職員の関係性を大切に、子どもたちの為に、同じ思いを持って保育を行っていききたい。職員も定着し仕事にも慣れてきたので、次年度は新しい職員を迎えたときに仕事を伝えられる力をつけていきたい。	